

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	解剖生理学Ⅷ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1)	時間(単位)
対 象 学 年	1 年		学期及び曜時間	通年	教室名	講義室		
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
「循環系」と「血液と免疫」について学習する。 当該範囲の国家試験問題の正答を選択できるようになることを目標とする。								
《成績評価の方法と基準》								
提出課題への評価点：30 % 期末試験の得点：70 % (合計で 60 % を超えれば合格)								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
東洋療法学校協会編『解剖生理』 配布プリント Web教材								
《授業外における学習方法》								
授業の最後に提示される課題を、授業内容や教科書などを参考にして完成させること。								
《履修に当たっての留意点》								
授業や課題に真剣に取り組み、その内容を確実に記憶していくこと。								
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	特に無し			
		各コマにおける授業予定	「骨格筋の神経支配」についての講義。					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	課題の復習。			
		各コマにおける授業予定	「反射①」についての講義。					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。			
		各コマにおける授業予定	「反射②」についての講義。					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。			
		各コマにおける授業予定	「心臓血管系」、「心臓の構造」、「心筋の基本的性質」、「刺激伝導系」についての講義。					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。			
		各コマにおける授業予定	「心臓の活動と検査」についての講義。					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「動脈・静脈・毛細血管」、「肺循環」についての講義。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「体循環①」についての講義。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「体循環②」についての講義。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「胎児の血液循環」、「血圧と脈拍」、「血圧の調節」についての講義。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「血液とその成分」、「赤血球」、「白血球」、「血小板と止血機構」についての講義。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「生体防御機構」、「免疫に働く白血球」、「免疫に働く液性因子」についての講義。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「リンパ系器官」、「様々な免疫応答」、「リンパ循環とリンパ節」、「リンパ液の働き」、「血液型」についての講義。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 これまでの講義内容の振り返り(1)。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に、教材を見ないで正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 これまでの講義内容の振り返り(2)。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 まとめ演習において60%以上の正答率を得る。	復習用教材 試験問題	以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。  期末試験対策。
		各コマにおける授業予定 まとめ演習		